

Q<sup>62</sup>

空気感染を起こす疾患にはどのようなものがあるのでしょうか？ また空気感染予防策を行う際に陰圧個室がない場合はどのように対応したらよいのでしょうか？ 部屋に換気扇を付けたような簡単な設備でも大丈夫なのでしょうか？

## A

空気感染を起こす疾患としてはCDCによると麻疹、水痘、結核が挙げられています。その他に、SARSが飛沫感染だけでなく空気感染もすることが報告されました<sup>1)</sup>。また、インフルエンザもSARSと同様、空気感染もすると考えるべきだろうという報告があります<sup>2)</sup>。空気感染を予防するにはN95マスクを着用し、患者を陰圧室に収容するというのが一般的な対応策ですが、SARS流行時にベトナムでは病室の窓を開放することで院内感染が防止できたとされており、設備がないと空気感染対策ができないということはないようです。部屋に換気扇をつけた程度で十分かどうか、というご質問ですが、ベトナムの結果を考え合わせますと換気扇の強さにもよるでしょうが、ないよりはずっと有用なことは間違いなさだろうと思います。ただ、これで本当に大丈夫か、といわれますと、病原体の致死率、水平伝播力を考慮して個々に対応するしかないと思います。少なくともN95マスクを適切に着用すれば医療職員にとっては相当に安全性が高まるだろうと思われれます。

## 文献

- 1) Yu ITS, et al. : Evidence of airborne transmission of the severe acute respiratory syndrome virus. *New Engl J Med* 2004; 350: 1731-1739
- 2) Bridges CB, et al. : Transmission of influenza : implications for control in health care settings. *Clin Infect Dis* 2003; 37: 1094-1101.

(阪上賀洋)